

冬季特別補習2年生世界史模試対策 担当:地歴公民科 高坂

補習テキスト

*** 補習当日までに、予習として正誤判定プリントを解答してきてください。**

第1日目 世界史正誤判定プリント【11月模試の振り返り】

以下の文章の正誤を判定し、正しければ○を、誤っていれば×を番号に付けなさい。

*×の場合、正しいものに直せるとより力が付きます。

- 7 ウルは、アッカド人を征服して、初めてメソポタミアを統一した。
- 8 シュメール人が作った楔形文字は、おもに粘土板の上に書かれた。
- 11 歴史家ヘロドトスは、「エジプトはナイルのたまもの」と表現した。
- 14 ギザのピラミッドは、メンフィスを都とするエジプト中王国時代に建造された。
- 15 アッカド人は、中王国時代のエジプトに侵入した。
- 18 エジプトの太陽暦は、ユリウス暦のもとになった。
- 20 フェニキア人は、ダマスカスを中心に、主に内陸貿易で活躍した。
- 27 アケメネス朝では、サトラップを置いて全国を統治した。
- 31 ギリシア人のポリスでは、アクロポリスやアゴラを中心に、公共生活が営まれた。
- 37 貴族と平民が争いを続けていた前6世紀中ごろ、ペイシストラトスは、僭主として独裁権力を握った。
- 39 前2世紀に、マラトンの戦いが起こった。
- 43 ヘシオドスは、『神統記』を著した。
- 46 古代ギリシアでは、プロタゴラスが絶対的な真理の存在を主張した。
- 50 アテネとテーベ(テーバイ)の連合軍は、カイロネイアの戦いでフィリッポス2世に敗れた。
- 53 バクトリアは、セレウコス朝から自立したギリシア人が建国した。
- 59 『アヴェスター』は、マニ教の経典である。
- 69 前1世紀のイタリアで起こった奴隷の大反乱を指導したのは、スパルタクスであった。
- 75 奴隷制に基づくコロナトゥスが成立した。
- 77 ディオクレティアヌスは、コンスタンティノープルをローマ帝国の首都として整備した。
- 78 イエスは、ローマに対する反逆者として処刑された。
- 81 ニケーア公会議で、アタナシウス派が正統とされた。
- 84 リウウィウスは『ローマ建国史』を著した。
- 88 アウグスティヌスは、『神の国』を著した。
- 96 前2世紀に、チャンドラグプタがマウリヤ朝を開いた。
- 98 インドでは、マウリヤ朝時代に大乘仏教が広まった。
- 100 インドの仏教とイスラーム文化が融合して、ガンダーラ美術が生まれた。
- 108 南京には、殷王朝の遺跡である殷墟がある。
- 109 殷では、甲骨文字が使用されていた。
- 116 春秋末から戦国時代には、鉄製武器が使用され、農業生産力が向上した。
- 120 道家は、戦国の諸侯を相手に外交策を論じた。
- 125 秦の始皇帝は、長城を修築して、柔然の侵入に対抗した。
- 126 秦の始皇帝は、ベトナム南部まで支配領域を広げた
- 129 漢の高祖は、郡県制を創始した。
- 133 前漢の時代、中国は朝鮮半島への進出をはかり、楽浪郡などの4郡を設置した。
- 136 王莽は、明の時代を理想とする政治を行った
- 140 2世紀に、大秦王安敦の使者と称する者が、日南郡に到着した。
- 143 秦の時代に、製紙法が改良され、紙が普及した。
- 145 前漢の訓詁学者として、鄭玄が有名である。
- 146 『史記』は、編年体の形式で書かれ、その後の歴史書の模範となった。
- 150 西晋によって始められた屯田制とは、兵士や募集した農民に、官有地を耕作させるものであった。
- 154 北魏の孝文帝は、長安に遷都した。
- 155 北魏では、成人男性だけに土地が支給された。
- 165 隋の煬帝は、黄河と長江を大運河で結んだ。
- 168 唐代の長安は、大興城と呼ばれていた。
- 171 唐の官吏は、郷挙里選によって選ばれたので、地方豪族出身者が多かった。
- 175 則天武后は、夫の高宗の死後に即位し、国号を新と改めた。

- 176 唐では、玄宗の時代に、募兵制に代わって府兵制が採用された。
- 178 ウイグルは、安史の乱の鎮圧に力を貸し、以後、唐への影響力を強めた。
- 179 兩税法は、租調庸制に代わって施行された。
- 188 玄奘は、海上交易路を利用し、仏典を求めてインドへ渡った。

第2日目 世界史正誤判定プリント⑤ 東南アジア史・アメリカ文明

以下の文章の正誤を判定し、正しければ○を、誤っていれば×を番号に付けなさい。

*×の場合、正しいものに直せるとより力が付きます。

- 192 扶南は、東西を結ぶ海上交易で栄えた。
- 193 ベトナム中部にチャム人の国真臘が2世紀ごろ成立し、1000年以上続いた。
- 194 アンコール＝トムは、カンボジアのアンコール朝の都城であった。
- 195 中国の支配から脱したベトナムでは、最初の長期安定王朝である李朝が成立した。
- 196 ベトナムでは、李朝がモンゴルの侵入を退けた。
- 197 黎朝は、明のベトナム支配を退けて自立した。
- 198 阮福瑛は、清によって越南国に封じられた
- 199 タイでは、イスラーム教が広まった。
- 200 12世紀に、タイではアユタヤ朝が成立した。
- 201 11世紀に、ビルマ(ミャンマー)人により、パガン朝が建てられた。
- 202 トゥングー(タウンゲー)朝は、元の攻撃を受けた。
- 203 コンバウン(アラウンパヤー)朝は、ラタナコーシン朝を滅ぼした。
- 204 シュリーヴィジャヤは、前漢に使節を派遣した。
- 205 シャイレンドラ朝のもとで、マレー半島にポロブドゥールが建てられた。
- 206 ジャワでは、ワヤンとよばれる影絵芝居が発達した。
- 207 ジャワでは、マタラム王国時代、元の侵攻を招いた。
- 208 アチェ王国は、ジャワ島に成立した。
- 209 マラッカ王国は、儒教を国教とした。
- 210 アメリカ大陸の先住民の祖先は、ユーラシア大陸から移住してきた。
- 211 アメリカ大陸にさかえたインカ文明などの諸文明では、小麦栽培を中心とする農業が営まれていた。

- 212 アステカ王国では、鉄器が使用されていた。
- 213 オルメカ文明は、メキシコ湾岸に栄えた。
- 214 ティオティワカン文明は、アンデス地域に栄えた。
- 215 ユカタン半島では、キープ(結縄)を用いるマヤ文明が発展した。
- 216 メキシコシティの地には、インカ帝国の都テノチチトランがあった。
- 217 インカ文明の影響で、チャビン文化が生まれた。
- 218 インカ帝国では、王は太陽の子(化身)として崇拝されていた。

第3日目 世界史正誤判定プリント⑥ 13世紀までのイスラーム世界

以下の文章の正誤を判定し、正しければ○を、誤っていれば×を番号に付けなさい。

- 316 イスラーム教は、アッラーを信じる一神教である。
- 317 『クルアーン』はペルシア語で記された啓典である。
- 318 6世紀にイスラーム法が成立した。
- 319 ムハンマドは、メッカにヒジュラ(聖遷)を行った。
- 320 正統カリフは、ムハンマドの死後、信徒から選ばれた指導者である。
- 321 イスラーム教徒は、預言者ムハンマドに率いられてエジプトを征服した。
- 322 ウマイヤ朝は、エルサレムに都を定めた。
- 323 ウマイヤ朝軍は、トゥールポワティエ間の戦いでカール=マルテルに敗れた。
- 324 イスラーム教の多数派をシーア派といい、4代カリフのアリーの子孫に従う人々をスンナ派という。
- 325 イスラーム世界では、支配下のキリスト教徒は、ジズヤやハラージュを課されたが、キリスト教の信仰は認められた。
- 326 アッバース朝は、ティグリス河畔に都バグダードを建設した。
- 327 アッバース朝は、タラス河畔の戦いで隋の軍隊を破った。
- 328 アッバース朝は、シャープール1世の時代に全盛期を迎えた。
- 329 アッバース朝では、イラン人が官僚に登用された。
- 330 ウマイヤ朝の一族が、小アジアに後ウマイヤ朝を建てた。
- 331 ファーティマ朝は、スンナ派の王朝であった。
- 332 ファーティマ朝の君主は、カリフを称した。
- 333 アレクサンドリアに、アズハル学院が設けられた。
- 334 カラハン朝が、サーマーン朝を滅ぼした。
- 335 セルジューク朝は、シーア派の学問を振興した。
- 336 イクター制は、国家が軍人に徴税権を与えず、俸給を支給するものであった。
- 337 12世紀に、中央アジアではホラズム朝が倒された。
- 338 イル=ハン国は、フラグの治世にイスラーム教を国教とした。
- 339 サラディン(サラーフ=アッディーン)は、第1回十字軍の侵入を退けた。
- 340 マムルーク朝のマムルーク軍は、モンゴル軍を撃退した。
- 341 7世紀にベルベル人が建てたムラービト朝は、イスラーム王朝であった。
- 342 イベリア半島に進出したムワッヒド朝は、ムラービト朝に滅ぼされた。
- 343 12世紀に、イベリア半島ではナスル朝が滅んだ。
- 344 ゴール朝は、9世紀にインドに侵入した。
- 345 デリーを都とした最初のイスラーム王朝は、奴隷王朝と呼ばれた。
- 346 11世紀に、マラッカ王国の王がイスラーム教に改宗した。
- 347 15世紀に、アクスム王国がクシュ王国を滅ぼした。
- 348 ガーナ王国は、金と塩を交換する交易をおこなった。
- 349 15世紀に、西アフリカではソンガイ王国に代わってマリ王国が起こった。
- 350 ムスリム商人は、おもにジャンク船を用いてインド洋交易で活躍した。
- 351 アフリカ東海岸のマリンディなどが、ムスリム商人による交易の拠点となった。
- 352 ナイル川上流に、モノモタパ王国が成立した。
- 353 イスラーム文明は、イラン・インド・ギリシアなどの文化遺産を融合し発展させた独自の文明である。
- 354 モスクなどの宗教・公共施設は、ワクフによって支えられた。
- 355 イスラーム神秘主義者は、神との一体化を目指した。
- 356 イブン=ルシュド(アヴェロエス)は、『世界史序説』で歴史発展の法則性を論じた。
- 357 イスラーム世界は、ビザンツ帝国からゼロの概念を学んだ。
- 358 イブン=シーナー(アヴィケンナ)の医学書は、近代医学が成立するまでヨーロッパで教科書として用いられた。
- 359 イスラーム世界では、各地の説話をもとに『千夜一夜物語(アラビアン=ナイト)』が成立した。
- 360 イブン=バットゥータは宋代の中国を訪れ、『三大陸周遊記(旅行記)』を著した。
- 361 イスラーム世界では、アラベスクとよばれる細密画が発展した。